

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年2月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ニチリョク

コード番号 7578 URL <http://www.nichiryoku.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺村 久義

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役兼常務執行役員 (氏名) 矢田 欣也

TEL 03-3396-3052

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	2,288	△15.9	△76	—	△122	—	△112	—
23年3月期第3四半期	2,720	△21.9	△210	—	△269	—	△174	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△8.67	—
23年3月期第3四半期	△13.25	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
24年3月期第3四半期	9,835	—	3,488	—	35.5	270.65		
23年3月期	9,457	—	3,738	—	39.5	285.24		

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 3,488百万円 23年3月期 3,738百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,400	△16.6	140	13.5	60	△63.4	40	△25.5	3.10

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無  
該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	13,741,014 株	23年3月期	13,741,014 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	853,086 株	23年3月期	633,160 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	13,025,359 株	23年3月期3Q	13,195,167 株
----------	--------------	----------	--------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 通期の業績予想に関しましては、平成23年5月13日付「平成24年3月期決算短信(非連結)」で公表しました業績予想を修正いたしました。なお、業績予想の修正内容につきましては、平成24年2月9日に公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。
2. 上記に記載した予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。上記予想数値に関する事項につきましては、[添付資料]P.2「当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
(5) 重要な後発事象 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から景気回復の兆しは見えてきたものの、欧州の債務危機を背景とした世界経済の減速や長引く円高の影響などにより、景況感の改善には至らず、個人消費も低調に推移しており、先行きが依然不透明な状況となっております。当社が属する供養産業におきましても、死亡者が年々増加しているにもかかわらず、特に葬儀業界では、葬儀の小規模・地味化傾向が一層顕著となると共に価格競争が激化し、顧客単価下落という厳しい状況にあります。お墓事業につきましても、景気の低迷による購買意欲の減退に伴う霊園への来園顧客数の減少のため、当社の売上は前年同期に比べ大きく下回りました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における業績は、売上高22億8千8百万円（前年同四半期比15.9%減）、営業損失7千6百万円（前年同四半期営業損失2億1千万円）、経常損失1億2千2百万円（前年同四半期経常損失2億6千9百万円）、四半期純損失1億1千2百万円（前年同四半期純損失1億7千4百万円）となりました。

#### 各セグメントの状況

##### <霊園事業>

従来式の屋外墓地につきましても、比較的高価格となる墓地の買い控え及び小規模区画墓地傾向が続く環境下、一つのお墓に多数のお骨を納める共有墓の募集などをすすめてきましたが、売上高は12億1千8百万円（前年同四半期比15.1%減）となりました。

##### <堂内陵墓事業>

堂内陵墓第三号「関内陵苑（横浜市）」が一昨年4月に完売したことにより、前年同四半期に比べ販売手数料収入が大幅に減少いたしました。一方、堂内陵墓第四号「覚王山陵苑（名古屋千種区）」は当初計画どおり順調な販売実績をあげております。売上高は3億6千8百万円（前年同四半期比21.6%減）となりました。

##### <葬祭事業>

葬儀の地味化傾向が一層顕著となり施行単価が下落しております。一方、従来の葬儀の流れである、葬儀社主導の葬儀施行形態を変革する目的として、一昨年6月に「ラステル久保山（横浜市西区）」を開業いたしました。顧客からの家族葬・直葬のニーズが当初計画より高く、葬儀施行件数は順調に推移しております。また、昨年7月、ご自宅感覚での葬儀（邸宅葬）施行を目的とした「ラステル久保山新館」を開業し、双方、今後の葬儀部門の売上に貢献するものと確信しております。売上高は7億2百万円（前年同四半期比13.9%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末における資産合計は、98億3千5百万円となり、前事業年度末に比べ3億7千8百万円増加いたしました。

流動資産は、前事業年度末に比べ、7千6百万円減少し、34億5千3百万円となりました。その主な要因は、永代使用权1億9千4百万円の減少によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べ、4億5千5百万円増加し、63億8千2百万円となりました。その主な要因は、建物5千5百万円、土地5千4百万円、建設仮勘定6億円及び差入保証金1億3千7百万円の増加、霊園開発協力金5千6百万円及び長期貸付金2億5千8百万円の減少によるものです。

流動負債は、前事業年度末に比べ、2千6百万円増加し、32億2千8百万円となりました。その主な要因は、未成工事受入金1億8百万円の増加、1年内返済予定の長期借入金1億1千9百万円の減少によるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べ、6億3百万円増加し、31億1千9百万円となりました。その主な要因は、長期借入金8億4千7百万円の増加、社債2億6千8百万円の減少によるものです。

純資産は、前事業年度末に比べ、2億5千万円減少し、34億8千8百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金2億1千1百万円の減少によるものです。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年2月9日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,624,167	2,000,172
完成工事未収入金	132,327	44,047
売掛金	111,000	76,602
永代使用権	889,839	694,882
未成工事支出金	314,308	345,105
原材料及び貯蔵品	72,300	91,798
その他	386,756	201,094
貸倒引当金	△19	△18
流動資産合計	3,530,680	3,453,684
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,081,395	1,136,101
その他(純額)	693,503	1,348,012
有形固定資産合計	1,774,899	2,484,113
無形固定資産	196,725	135,241
投資その他の資産		
長期貸付金	710,862	451,925
差入保証金	870,919	1,008,680
壺園開発協力金	1,241,188	1,184,246
その他	1,231,639	1,220,251
貸倒引当金	△99,531	△102,213
投資その他の資産合計	3,955,078	3,762,891
固定資産合計	5,926,702	6,382,245
資産合計	9,457,383	9,835,930
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	80,198	53,723
短期借入金	519,400	601,000
1年内返済予定の長期借入金	1,605,560	1,486,132
1年内償還予定の社債	395,000	394,000
未払法人税等	—	777
賞与引当金	28,256	13,200
その他	574,210	679,800
流動負債合計	3,202,625	3,228,634
固定負債		
社債	641,000	373,000
長期借入金	1,530,630	2,378,277
退職給付引当金	221,582	232,446
役員退職慰労引当金	122,320	135,124
その他	300	300
固定負債合計	2,515,833	3,119,148
負債合計	5,718,458	6,347,782

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,306,842	1,306,842
資本剰余金	958,082	958,082
利益剰余金	1,617,524	1,406,339
自己株式	△117,149	△154,853
株主資本合計	3,765,300	3,516,410
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△14,516	△17,840
繰延ヘッジ損益	△11,858	△10,421
評価・換算差額等合計	△26,375	△28,261
純資産合計	3,738,924	3,488,148
負債純資産合計	9,457,383	9,835,930

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	2,720,230	2,288,940
売上原価	1,153,469	818,496
売上総利益	1,566,761	1,470,443
販売費及び一般管理費	1,776,928	1,547,140
営業損失(△)	△210,167	△76,697
営業外収益		
受取利息	21,895	12,909
受取配当金	11,044	11,044
違約金収入	—	8,840
その他	25,934	33,052
営業外収益合計	58,873	65,845
営業外費用		
支払利息	90,993	81,865
シンジケートローン手数料	9,900	15,000
その他	16,885	14,745
営業外費用合計	117,778	111,611
経常損失(△)	△269,072	△122,462
特別利益		
固定資産売却益	—	523
特別利益合計	—	523
特別損失		
投資有価証券評価損	2,380	—
固定資産除却損	18,913	32
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,202	—
特別損失合計	24,495	32
税引前四半期純損失(△)	△293,567	△121,971
法人税、住民税及び事業税	6,495	6,410
法人税等調整額	△125,272	△15,506
法人税等合計	△118,777	△9,095
四半期純損失(△)	△174,790	△112,876



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

平成24年1月25日開催の取締役会において、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するため、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項の決定をいたしました。

<取得に係る事項の内容>

1. 取得対象株式の種類	当社普通株式
2. 取得する株式の総数	300,000株 (上限)
3. 株式の取得価額の総額	100百万円
4. 自己株式取得の日程	平成24年2月1日 ~ 平成24年7月31日
5. 取得の方法	株式会社大阪証券取引所における市場買付